

鈴木合金株式会社

抵抗器の設計、製作、

メンテナンスまで一貫対応

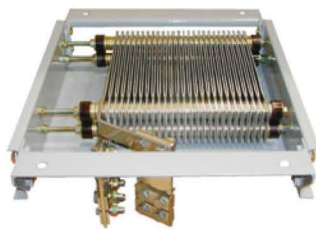
- 納期談
- 企画力
- 自信有
- オンライン
- ワン技術
- メイドイン
- ジャパン
- 試作可
- 小ロット
- 量産
- 対応

業務内容

日本で唯一、車両用抵抗器を総合的に扱う

電気で走る鉄道車両には、電力の流れを調整する抵抗器の存在が欠かせない。大正6年に創業した鈴木合金は、旧国鉄や各私鉄、都市交通局等へ車両用抵抗器を提供してきた。東海道新幹線開通時から現在に至るまで採用される等、まさに鉄道インフラ整備の一翼を担ってきた存在だ。

現在は主抵抗器、スナバ抵抗器、充放電抵抗器、ブレーキ抵抗器と、車両用の各種抵抗器を総合的に扱うメーカーとして存在感を示している。さらに発電所や変電所で使われる電力用抵抗器、工場や建設現場で使われる産業用抵抗器の他、国内で唯一、大容量風冷抵抗器も手掛けている。



新幹線用接地抵抗器

技術力

ねじっても折れない
高強度の鋳物

同社の技術力の結晶といえる製品が「特殊鋳鉄抵抗格子」だ。これは鋳物タイプの抵抗体の中で、180度以上ねじっても折れないほどの高い強度を持つ。鋳物ほもろい、という常識を覆したことに加え、ニッケルやシリコンを添加することで、高価なニッケル合金と同等の電気特性を持たせた。これにより、強烈な振動を受ける鉄道

強み

最大の強みは
オーダーメイド設計技術

車両での導入が進んだのだ。この製品は現在、送変電設備用の抵抗器に使用されている。

同社は受注生産が基本で、最大の強みはオーダーメイドの設計技術にある。「抵抗体や抵抗器が組み込まれる場所は制約が多く、だからこそ当社の設計技術が強みを発揮する」と鈴木社長が語るように、顧客の数だけ要望も異なる。同社では設計、製作、納入、メンテナンスまで一貫して行うことで、顧客ごとに異なるニーズにきめ細かく対応しているのだ。

今後の展望

産学連携による
新素材の開発にも注力

さらに品質管理体制も整備し、製品の品質確認も自社で行っている。「こうして一貫体制を敷いているのは独立系の抵抗器・抵抗体の専門メーカーとしては当社以外、ほとんどないでしょうね」と自信を見せる。

同社は鋳鉄抵抗体の製造で高い技術を誇るが、時代の流れと共に抵抗体は鋳物からスチールに置き換わっている。そこで今後を展望し、産学連携による新たな素材開発にも力を入れている。具体的には、電気特性を持たせにくいセラミックを用いた抵抗体の開発である。

さらに電気自動車等、従来の事業領域の枠にとらわれない新たな分野への展開も見据える。「電気がある限り抵抗はなくなる。だからこそ異業種への参入のチャンスはあるはずです」。

COMPANY PROFILE

鈴木合金株式会社

ISO 9001



今年で創業95年となる当社は祖父が起こし、私で3代目です。祖父は苦労して開発した特殊鋳鉄抵抗格子を携えて国鉄に向き、担当の前でコンクリートの地面に落として強度をアピールする等、強気の営業姿勢で顧客の信頼を積み重ねてきたと聞いています。創業者マインドを受け継ぎつつ、人を大切に経営で活気ある会社を目指していきます。

各車両にモーターがついている新幹線のように、
全社員で会社を動かしています。

代表取締役会長兼社長 鈴木 慶一さん



■主な事業内容
抵抗器・抵抗体の製造・販売・輸出入等

■主な取引先(納入先)
鉄道事業者、電力事業者、総合電機メーカー等

住所 / 551-0023
大阪市大正区鶴町
2-5-27
TEL / 06-6555-1701
FAX / 06-6555-1724
創業 / 大正6年8月
設立 / 昭和25年1月
資本金 / 2億5,000万円
従業員 / 132名

<http://www.suzuki-gokin.co.jp/>